

里塚斎場の再整備に関する説明会（第3回）【議事概要】

1 日時

令和7年11月24日（月）18時00分から19時08分まで

2 場所

里塚町内会会館（札幌市清田区美しが丘1条8丁目7-3）

3 主催者

札幌市

4 出席者

- (1) 札幌市 保健福祉局ウェルネス推進部施設担当部長
保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課長
保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課斎場担当係員
- (2) 住民等 5名

5 説明会概要

(1) 主催者挨拶（施設担当部長）

(2) 説明（施設管理課長）

ア はじめに

- ・ 里塚斎場は、供用開始から40年以上が経過し、老朽化が進行しています。
- ・ 市内の火葬件数は、令和36年頃まで増加することが見込まれます。
- ・ 市民の火葬需要に安定的に応えるため、老朽化した里塚斎場の再整備について検討しています。
- ・ 清田区町内会連合会連絡協議会会長会議には事前に説明し、説明会については了解を得ていますが、地下鉄東豊線の清田区への延伸が実現していない状況で、住宅地に近い場所への建替えは受け入れられないとの意見をいただいています。
- ・ 市の火葬場の現状、課題、再整備の検討状況を説明し、率直な意見を伺いたいと考えています。

イ 市内の火葬場について

- ・ 里塚斎場（南東）と山口斎場（北西）の2斎場体制で対応しており、それぞれ豊平川を挟んだ東側と西側のエリアを主な利用区域としています。
- ・ 里塚斎場の立地選定の経緯については、昭和50年代に平岸火葬場の老朽化等のため火葬場新設が計画され、市内複数の候補地から、切土や盛土を必要としない地形・地勢であることや主搬入路が住宅地を通らないこと等を総合的に評価し、里塚が最適地として選定されました。
- ・ 里塚斎場の建設にあたり、地元町内会からの反対意見がある中、清田地区町内会連合会が設置した特別委員会での検討を経て、清田区の分区や地下鉄東豊線延伸など14項目について、市が善処することを条件に斎場建設を容認するという内容の要望書が提出され、昭和56年3月に建設の了承を得ました。
- ・ 要望事項のうち、清田区の分区や羊ヶ丘通・北野通の全面開通などは実現したが、公立大学の誘致や地下鉄東豊線の延伸は実現に至っていません。
- ・ 地下鉄東豊線延伸については、現在も地下鉄東豊線建設促進期成会連合会が活動しており、要望書を提出しています。市長は、地域の熱い思いとバスの減便で不便になっている現状を重く受け止めていますが、将来にわたり赤字が膨らむ計画は責任を持った形で作れないことから、現在はいろいろな形で調査等を含めて動いている段階であるといった趣旨の回答をしており、清田地区町内会連合会各会長からは進展がないことに不満の声があります。
- ・ 山口斎場の立地については、豊平川西側を主な利用エリアとして、里塚斎場との位置関係も考慮のうえ、複数の候補地から手稲山口が候補地として選定されました。

ウ 火葬場の課題について

- ・ 里塚斎場は築40年で、火葬炉も令和16年頃には入れ替えが必要となります。山口斎場も令和18年頃には全面改修が必要となります。
- ・ 令和6年度の市内火葬件数は26,400件で、里塚・山口それぞれの火葬能力を超えています。山口斎場が全面改修で休止した場合、里塚斎場だけで市内の火葬需要（最大令和36年に32,800件見込み）に対応することは困難です。

エ 再整備について

災害時のリスク分散や利用者の利便性を踏まえると、現在の里塚・山口の2斎場配置が最適であり、里塚斎場の再整備は里塚で行う必要があると考えています。

オ 新斎場の整備候補地について

現里塚斎場の敷地内、隣接地、近接地（里塚霊園内の円形芝生広場）を比較検討しました。

カ 整備候補地の比較検討について

- ・ 敷地内は、現斎場と同位置であり周辺住環境への影響が少ないですが、現斎場稼働中の工事となり、利用者の安全確保や駐車スペース確保が困難で、設計の自由度が低く、また、工事中の騒音で現斎場の静粛性が保てない恐れがあります。
- ・ 隣接地は、敷地内と同様、周辺住環境への影響が少ないですが、急傾斜地のため盛土造成が必要となり、地盤沈下や土砂災害リスクがあり、工事中の安全確保が困難で、樹木の伐採による自然環境への影響が懸念されます。
- ・ 近接地の円形芝生広場は、平坦な地形で盛土造成が不要で災害リスクが低く、また、現斎場と一定の距離があり、工事中の会葬者の安全や駐車スペースの確保ができる一方、現斎場から住宅地側に約450m近づくこととなるため、工事中の騒音・振動、完成後の景観への配慮が必要です。
- ・ 災害リスクの低減と会葬者の安全確保を前提として比較した結果、敷地内や隣接地での再整備は難しく、周辺住環境に配慮しつつ円形芝生広場を整備候補地とすることが最適であると判断しました。

キ 里塚斎場（現斎場と新斎場）と山口斎場の中長期整備スケジュール

- ・ 新斎場は、令和17年の供用開始を目指しています。
- ・ 山口斎場は、令和18年頃から大規模改修が必要となるため、改修期間中は現斎場と新斎場の2斎場に対応します。
- ・ 現斎場は、山口斎場の大規模改修完了後に廃止する考えです。

ク 周辺環境への配慮について

- ・ 景観等：植樹による目隠しなどを検討します。また、工事中の騒音などに配慮します。
- ・ 環境対策：ダイオキシン等の抑制効果の高い設備を導入します。燃料には灯油よりクリーンな液化天然ガス（LNG）などを検討し、ばい煙等の環境対策を強化します。
- ・ 周辺道路：火葬需要を平準化する取組を継続します。山口斎場の大規模改修を全面休場せずに行う方法や工期短縮を検討し、改修期間中の里塚への火葬集中を緩和する策を検討します。

ケ 合葬墓の新設・里塚霊園管理事務所の建替えについて

- ・ 里塚霊園管理事務所は、築50年以上が経過し、老朽化が著しい状況です。
- ・ 平岸霊園の合同納骨塚は、需要の高まりから令和9年度には受入れ限界を迎える見込みです。
- ・ 合同納骨塚については、延命措置を検討しているが、将来的には新たな合葬墓の設置が必要な状況のため、老朽化している里塚霊園管理事務所の建て替えと、里塚霊園内への合葬墓の新設を同時に行う方向で検討しています。

コ 前回の説明会でのご意見について

- ・ 里塚斎場の再整備の必要性は理解できるが、円形芝生広場は住宅地に近すぎるので、隣接地を中心に検討してほしい。

- ・ 合葬墓や管理事務所も住宅地に近すぎる。
- ・ なぜ里塚で再整備をするのか。
- ・ 円形芝生広場の地盤は大丈夫なのか。
- ・ ダイオキシンなどの健康被害がない形での計画としてほしい。
- ・ 霊園周辺は、お盆時期を中心に大渋滞が発生し、生活道路の通り抜けも多いので対策をしてほしい。
- ・ 清田区は、里塚霊園・斎場を受け入れ、多大な貢献をしているのだから、せめて地下鉄を通してほしい。
- ・ 説明会で出された意見等に対しての答えをいただく機会を設けてほしい。
- ・ 円形芝生広場は子供が遊ぶ場所であり、地域の方の憩いの場になっているので考慮してほしい。

(3) 質疑応答

○ 発言者 A

- ・ 前回の説明会（里塚・美しが丘地区センター）も出席した。札幌市が今検討しているこの内容については反対。現時点で里塚に斎場があるから里塚というのはわからない。
- ・ 私はこの地域に35年住んでおり、ほぼ斎場建設と同時期に住んでいる。私としては札幌市にいろんな意味で多大なる協力、貢献はしてきたつもり。それは交通事情、風評被害も含めて。その中で今回の計画があまりにも住宅地に近いということで反対している。
- ・ 火葬場の課題については理解できるが、この計画（円形芝生広場）ありきで話が進んでいるような感じがしている。今回の住民説明会も単なる意見集約の場で、このまま計画が進んで行くのかなという一抹の不安を感じている。住民説明会を開いたのであれば、里塚以外も検討をしていただき、里塚以外の地域を含めて、再度住民に示してもらいたいということが一つ目の意見。
- ・ もう一つは、合葬墓。近隣の住宅の窓から見えるということ。あまりにも近いということ。斎場はメリット、デメリットの説明があったが、合葬墓はすでにこの計画で進めているということなのか。合葬墓についても何らかの配慮が必要ではないか。
- ・ 管理事務所も古いことは理解できる。ただ、あなた方は見ていないかもしれないが、管理事務所の前を通るときに骨つぼを外に並べているのを私たちは通るたびに見ている。もちろん、不衛生だとかそういうことではないが管理事務所の建て替えで、住宅街から見えるということもあるのではないか。
- ・ 管理事務所の横に日本庭園を造っているが、それも放置のまま。これがやっぱり札幌市の住民に対する配慮だなと。ただ、放置しただけで無駄な土地。そんな無駄な土地がいっぱいあるのに、なんで管理事務所がそこなのか、斎場も住宅地の手前なのかというのが疑問。
- ・ 札幌市が検討している円形芝生広場は緊急避難場所ではないのか。また、円形芝生広場にあったモニュメント（塔）を札幌市が解体したが、多大な騒音を発しながら解体していた。当時から、この計画ありきで壊したのではないか。
- ・ また、工事中の騒音に配慮すると言っているが、音を出さないで建物を建てられるのか。住民が犠牲になるだけではないか。憤りだけを感じる。

○ 施設管理課長

- ・ 緊急避難場所については円形芝生広場というわけではなく、円形芝生広場を含めて霊園全体が緊急避難場所となっています。
- ・ モニュメント（塔）については、平成27年に解体しました。経年劣化が激しく、コンクリートの破片が落下するなど、非常に危険な状態であることから撤去となりました。円形芝生広場に斎場を建てるために撤去したわけではありません。解体当時、円形芝生広場に斎場を建てるという話は一切なく、モニュメント（塔）が危険だということで撤去しました。その点については、ご理解していただきたいと思います。
- ・ また、モニュメント（塔）については園内への給水設備でしたが、園内に水道管が敷設されたことから、用途が無く、老朽化も進み、危険であるということから撤去しましたが、騒音があったという話は聞いていませんでした。

○ 発言者 A

- ・ あれだけ大きなモニュメント（塔）、土日祝日は工事はやっていないが、平日の日中はかなりの騒音があった。

- ・ 円形芝生広場の半分は地下に給水タンクがあるのではないか。

○ 施設管理課長

円形芝生広場には里塚配水池がありますが、斎場は配水池を避けたところに建てるということで検討しています。

○ 発言者 A

現斎場の近くにも配水池が無いのか。

○ 施設管理課長

現在も有明配水池として利用しています。

○ 発言者 B

ばい煙等の環境対策の強化について、よりクリーンなエネルギーのLNG利用を検討しているといふことは、LNGに決まったわけではないのか。

○ 施設管理課長

これから詳細な検討を行っていく段階であり、天然ガス（LNG）も一つの選択肢として検討していきたいと考えています。現在、霊園近くには天然ガス（LNG）の配管が敷設されていません。また、斎場で使用すると一般の住宅で使っている配管よりも大きな配管となり、費用もかかってきます。クリーンな燃料を採用していきたいと考えているところですが、天然ガス（LNG）に決まったというわけではありません。

○ 発言者 B

円形芝生広場に斎場を建てた場合、煙突は高くなるのか。

○ 施設管理課長

近年の斎場では煙突は目立たなくなっています。建物の2階くらいの高さで外から見ても、ほぼ煙突は見えないような形です。

○ 発言者 B

昔は煙突の高いところから排気ガスが流れていたが、今はもっと低いところから排気ガスが流れるということか。そうなれば、風向きにもよるが住宅地に排気ガスが流れてくるのではないか。低くなるということはそういうことではないか。

○ 施設管理課長

現在の斎場も排気はフィルター等によりクリーンな状態となり排出されていますが、最新の設備になることで、排気はよりクリーンな状態となり、ばい煙等の影響は無いと考えています。

○ 発言者 A

札幌市では、里塚で近隣住民の健康調査みたいなことはやったことがあるのか。

○ 施設管理課長

近隣住民の健康調査はしていませんが、排気ガスについてはダイオキシンの測定を行っています。

○ 発言者 A

- ・ 測定結果については、公表しているのか。現在の斎場の設備でも心配。この地域の標高は札幌テレビ塔の第二展望台くらいの高さがある。その高いところから出している煙は今も住宅街に流れてきている。
- ・ 住民説明会を実施するのであれば、健康に影響は無いということも断言できるような説明をする必要がある。こういう心配や不安があるから反対となる。

○ 施設管理課長

排ガスの測定はしていますので、測定結果等をお知らせする必要があるということですね。

○ 発言者C

- ・ 私の住宅は現在の里塚斎場から南に約1000mぐらいのところにある。円形芝生広場はちょうど中間の500mぐらいのところ。小高いところにある斎場からばい煙が直接吹き下ろし、ばい煙が住宅地に流れてきている。
- ・ 現在の斎場を建設した頃は、私の住宅周辺には住宅はほとんど無かった。それから宅地造成が始まった。今は当時から住宅状況が大きく変化し、私の住宅周辺だけでも数百戸の住宅が立ち並んでいる。
- ・ 最近は古くから住んでいる方との世代交代が始まって、若い子育て世代が転居してきている。未就学児童を含めた子どもの数が増えていると感じている。
- ・ 建設当時と比べて、これだけ住宅状況が大きく変化している場所に、今よりも住宅地の近くに施設規模を大きくして建設、さらに合葬墓まで新設するという円形芝生広場への建設計画案には納得できない。
- ・ どの市町村でも火葬場というのは住宅地から離れたところに設置している。火葬場を住宅地の近隣へ建設するということは、ダイオキシンなどの抑制やばい煙対策の強化、植樹による景観の配慮などの対策はもちろん大切だが、そのような対策で納得できる話ではない。
- ・ 火葬場という特殊な施設が住宅地のそばにくるということは簡単に納得できるような話ではない。
- ・ 隣接地での建設について、著しく困難な建設工事になるとは思わない。私は土木の技術者でしたので、いろんな現場を経験している。切土盛土の増加や基礎工事の増加、土留め壁の設置などはあるが、それほど困難な工事ではない。
- ・ 工事中の利用者の安全確保、騒音対策、駐車場のスペースなどの確保は建設設計段階で十分に検討すれば対処は可能ではないか。
- ・ 現施設の解体跡地を合葬墓の新設場所として利用することもできるのではないか。
- ・ これだけの規模の建設工事を実施する施工業者は、十分な技術力と施工のノウハウを持っているので、心配することはないのではないか。
- ・ 工事の騒音で斎場の静粛性が保てないという説明だが、斎場利用者は斎場に数時間滞在し、次の利用者と入れ替わっていく。しかし、住民は引っ越しをしない限り、一生この新しい斎場と付き合っていくことになる。今よりも近くに建設されるということは近隣住民にとって、住環境はもちろん、精神衛生上も著しく変化し、負担に感じることになる。
- ・ 現斎場の隣接地での建設は工事費用の増加などはあるが、住民の了解を得るための費用としては決して高いものではない。
- ・ 円形芝生広場への斎場新設、合葬墓新設には絶対に反対。現斎場の隣接地での再整備など、円形芝生広場以外での整備計画の再検討を強く要望する。

○ 発言者D

- ・ 清田区に65年ほど住んでいる。現斎場を建てる時に、当時の連町会長と板垣市長との間で約束があったと聞いている。その時の書類が残っているのか。
- ・ 2年前に私の妹が埼玉県で亡くなったが、斎場が見つからず、知り合いから杉並区高円寺（東京都）の斎場であれば対応できると聞いて、そこで火葬を行った。その斎場は駅の近くで、住宅のど真ん中にあった。札幌市もそういったところに行って、見てくるべきではないか。

○ 施設担当部長

- ・ まず、約束をしたのではないかというお話に関しては、町内会連合会の会長の皆さんから、「札幌市と地域の方々でそのような約束をしたはずだから、文章を探してきて欲しい」というリクエストが実はありました。そこで、我々は過去の書類を探したのですが、約束ということに関して文書があったかと言いますと、結論としては文書は見つかりませんでした。
- ・ ただ、それで我々はその約束が全く無かったということで、否定をする気はありません。ここに書かれているとおり、地域の皆様から14項目の要望書をいただき、その中に地下鉄のことが書かれて

おり、今でも期成会の皆様が精力的にご活動していただき、毎年、市長に要望を上げていただいています。

- ・ 皆様が地下鉄に関して、ずっと思い続けているということに関しては、我々も十分理解をしているつもりですし、担当部署にもしっかりとお伝えしていますし、担当部署もしっかりと理解をしているはずです。
- ・ もう一つのお話についてですが、確かに本州の方だと北海道と住宅事情が違ったり、土地事情が違ったりするということで、都市型の火葬場というものがあります。
- ・ また、最初のご発言で、我々が円形芝生広場に決め打ちをしているとの発言がありましたが、我々は円形芝生広場が最適だと考えていますけれども、あくまで決めているわけではなく、こういった意見交換の場を通じて、改めて検討していくことになると思っています。
- ・ どこに整備するにしても、他都市の状況を視察することは有用かなと思いますので、ぜひとも見ていきたいと思います。

○ 発言者E

- ・ 反対です。本当に精神的にもまいります。
- ・ 合葬墓が近すぎる。住宅から100m、200m。

○ 発言者A

なぜ平岸の合葬墓がくるのか。里塚の合葬墓は六地藏の近くに祀られているところではないのか。

○ 施設管理課長

- ・ 六地藏の近くにある無縁供養塔は豊平墓地を移転した際の無縁遺骨を納めている施設で、合葬墓として使っているわけではありません。
- ・ 札幌市の合葬墓は平岸にある合同納骨塚しかありません。例えば、お墓を持っていない方、お墓じまいをする方が利用されています。
- ・ 平岸霊園や里塚霊園をご利用の方がお墓じまいをする場合で、市の合葬墓を利用したいという方は平岸しかないということです。
- ・ 本来は平岸で合葬墓の整備や増設ができればよいのですが、用途地域の関係で増設ができません。なるべく多くのご遺骨を納めることができるように合葬墓の延命措置は考えているところですが、それ以上に新しく増設ができないという事情がありまして、里塚霊園でというところを考えさせていただいています。

○ 発言者E

合葬墓ですが、住宅地に近いところではなく、里塚霊園内のお墓があるところに建てれば良いのではないかと。

○ 施設管理課長

現段階では合葬墓をここに作るという話ではなく、この場所でどうだろうかということです。霊園管理事務所の建て替えと合わせて考えた時に、里塚霊園内でまとめた土地というのがここでしたから、ここでどうだろうかということでご説明させていただいています。

○ 発言者E

霊園管理事務所と合葬墓をセットで考える必要はないのではないかと。

○ 施設管理課長

ご意見、承知いたしました。

○ 発言者B

今の斎場で出た灰はどうしているのか。

○ 施設管理課長

- ・ 残骨灰については、里塚霊園内の供養塚に納めています。

- ・ 供養塚の下にコンクリートのピットがあり、そこに納めています。

○ 発言者 A

- ・ 清田区にはJRの駅もない、公共の地下鉄の駅もない。清田区民は相当な不便を感じている。
- ・ おそらく、これから清田区の人口は10万、9万、8万と減ってくる。ただ、民間企業がコストコやアウトレットパークなどの大型の商業施設を作っていて、新しく来た若い方との世代交代があり、特に子供たちが増えてきている。
- ・ これでようやく少しは街らしくなるのかなと思った矢先に、この計画。やはり風評被害というのは、多かれ少なかれあるのではないか。住民は我慢というか犠牲になっているのではないか。
- ・ 山口は位置的に良い。清田区の住環境とは全然違う。
- ・ 今後も20～30年周期で建て替えがある。建て替えではなくても山口では受変電設備等の更新がある。少なからず、今後も整備計画が出てくるのではないか。
- ・ 次の世代のことを考えると、現斎場の奥（隣接地）、山の中が良いのではないか。
- ・ 今も里塚に斎場があるのだから、住民が我慢してくれよというような札幌市の計画なのかもしれないが、逆になんで清田区なんだというところ。
- ・ 里塚の旧斎場と新斎場の二体制でこれから運営していく計画ではない。新しく建て替えても20年、30年後に同じ話が出てくる。
- ・ 長期的な考え方で、現斎場の奥に土地を確保しながら、造成して整備していく方向で検討してほしい。
- ・ 山の中や、豊平区、白石区、他にも平らな土地はたくさんある。そういったところも改めて検討してほしい。
- ・ 清田区民は40年間貢献してきたのではないか。それをぜひ考慮してほしい。

○ 施設管理課長

ご意見、ありがとうございます。

○ 発言者 C

- ・ 今回の説明会の案内文は回覧板で回ってきたが、里塚斎場の再整備に関する説明会と書いてあり、この書き方だと再整備について、誤解している方がいる。
- ・ 斎場の再整備に関することと書いているので、円形芝生広場のところに移設するとはわからず、今の施設を改修、再整備すると思っている。
- ・ 私の近所でも、新しい施設を作るみたいだと話したところ、それは駄目だという話が出てきた。全く再整備の内容をわかっていなかった。
- ・ 説明会の内容をわかっていない人がたくさんいるのではないか。だから、同じくらい反対意見の人がいるのではないか。
- ・ もう一度、案内文の内容を変えて、こういうところ（円形芝生広場）に移転する計画をしているということで、住民に知らせるべきではないのか。
- ・ 後になって、こんな話なら参加したかったという方が出てくるのではないか。
- ・ 住宅のすぐ近くに合葬墓を新設し、円形芝生広場に斎場を新設、ダイオキシンが住宅地に流れてくる可能性があると思ったら、反対だという人がたくさん出てくるのではないか。
- ・ これが計画ありきで進めているという印象を与えているのではないか。
- ・ 本当にこのまま進めるつもりなのか。霊園の近くに住んでいる人たちがこの事実を知ったらどう思うのか。こういう内容で再整備を行いますと案内し、もう一回説明会をやるべきではないか。

○ 施設管理課長

- ・ 今回は現在の検討状況のご説明ということで、地域の方からのご意見をいただいて、検討していく考えです。
- ・ この計画案ありきということではないということをご理解いただきたいと思います。

○ 発言者 C

- ・ この計画案ありきで進めるのであれば、とんでもないこと。住民の方にもっともっと説明しなければいけない。後で知って、こんなの全然知らなかったということになってはいけません。

- ・ 住民の意見を聞きたいのなら、住民がもっと参加できるような内容で案内する必要がある。その辺の誠意が感じられない。だから札幌市を信用できない。
- ・ その辺をよく考えて再検討し、説明会の開催の仕方も検討して欲しい。

○ 施設担当部長

- ・ 頂いたご意見をしっかりと受け止め、検討を進めていきたいと思います。
- ・ 今回、いくつかの候補地を挙げて説明をしていますが、この説明会だけで終わらせるということにならないのかなと、札幌市の方針をもう少し固めた上で、改めて意見を伺いたいと思います。
- ・ どういった形でご意見を伺うかということは未定ですけれども、ご意見を伺うことは必要なのかなと思っております。

以 上